

令和6年度 「人権についての伊佐市民意識調査」

報告書

市民課 人権啓発・市民相談係

目 次

1 調査の概要	
(1) 調査目的	3
(2) 調査設計	3
(3) 回収結果	3
(4) 報告書の表記について	3
2 集計結果	
○人権一般について	4
○女性の人権について	8
○子どもの人権について	10
○高齢者の人権について	11
○障がい者の人権について	12
○同和問題について	13
○外国人の人権について	19
○H I V感染者等の人権について	20
○ハンセン病患者等の人権について	20
○犯罪被害者等の人権について	22
○インターネットによる人権侵害について	23
○北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権について	25
○性的指向・性自認（ジェンダーアイデンティティ）の人権について	26
○災害時の人権について	28
○啓発に関して	29
○人権が尊重される社会の実現に関して	30
○あなた自身のことについて	31
3 記述回答一覧(自由意見)	32

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、効果的な人権教育・啓発施策の推進に役立てるため、市民の人権意識を把握することを目的とする。

(2) 調査設計

- ① 調査対象 18 歳以上（令和 6 年 6 月 1 日現在）の伊佐市在住者
- ② 対象人数 1,000 人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ④ 調査期間 令和 6 年 6 月 5 日（水）～6 月 28 日（金）
ただし、令和 6 年 7 月 5 日（金）到着分までを有効回答とした。
- ⑤ 調査方法 配布：郵送
回収：郵送またはインターネット回答

(3) 回収結果

- ① 有効回収数 351 件（郵送・持参 325 件、インターネット回答 26 件）
- ② 回収率 35.1%

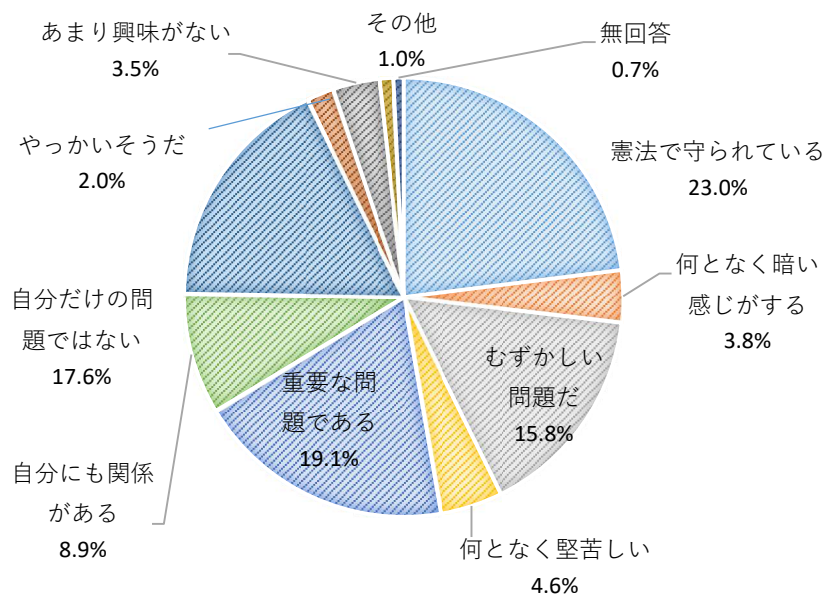
(4) 報告書の表記について

- ・ 調査結果の構成比率は全て百分率（%）である。
- ・ 質問の選択肢は、意味を損なわない程度の省略した表現を用いている場合がある。

2 集計結果

○人権一般について

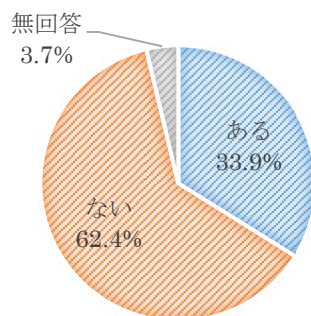
問1 あなたは、「人権」について、どのような印象や感想をお持ちですか。(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	憲法で守られている	186	23.0	20.9	17.6
2	なんとなく暗い感じがする	31	3.8	3.4	4.2
3	むずかしい問題だ	128	15.8	18.4	20.5
4	何となく堅苦しい	37	4.6	3.7	4.5
5	重要な問題である	154	19.1	20.0	20.1
6	自分にも関係がある	72	8.9	9.6	9.5
7	自分だけの問題ではない	142	17.6	17.6	17.0
8	やっかいそう	16	2.0	2.7	2.9
9	あまり興味がない	28	3.5	2.3	1.7
10	その他	8	1.0	1.0	0.9
11	無回答	6	0.7	0.4	1.1
	合計	808	100	100	100

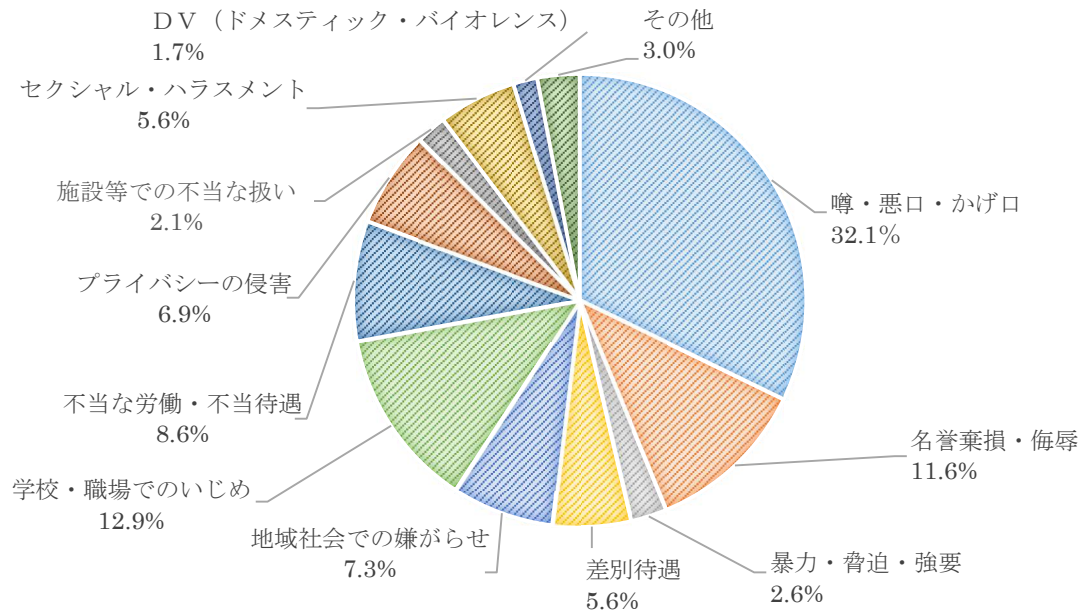
※「憲法で守られている」が増加し最も高い割合となっていて、「むずかしい問題だ」が減少している傾向にある。

問2 あなたは、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	ある	119	33.9	35.9	39.6
2	ない	219	62.4	63.2	58.0
3	無回答	13	3.7	0.9	2.4
	合計	351	100	100	100

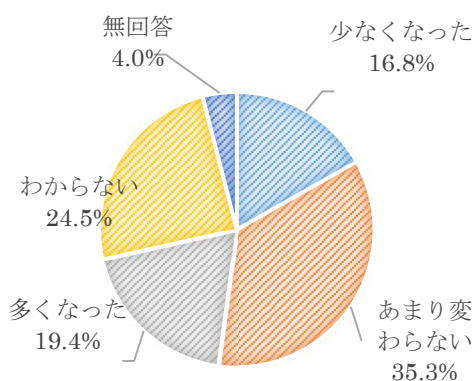
問2-1 それは、どんなものですか。(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	噂・悪口・かげ口	75	32.1	27.7	22.5
2	名誉棄損・侮辱	27	11.6	9.4	12.0
3	暴力・脅迫・強要	6	2.6	4.6	4.1
4	差別待遇	13	5.6	10.3	11.3
5	地域社会での嫌がらせ	17	7.3	4.9	8.6
6	学校・職場でのいじめ	30	12.9	13.3	13.7
7	不当な労働・不当待遇	20	8.6	8.6	7.6
8	プライバシーの侵害	16	6.9	8.3	11.3
9	施設等での不当な扱い	5	2.1	1.4	2.1
10	セクシャル・ハラスメント	13	5.6	6.3	3.7
11	DV (ドメスティック・バイオレンス)	4	1.7	2.0	2.3
12	その他	7	3.0	2.9	0.4
13	無回答	0	0	0.3	0.4
	合計	233	100	100	100

※噂・悪口・かげ口が増加し、プライバシーの侵害は減少傾向にある。

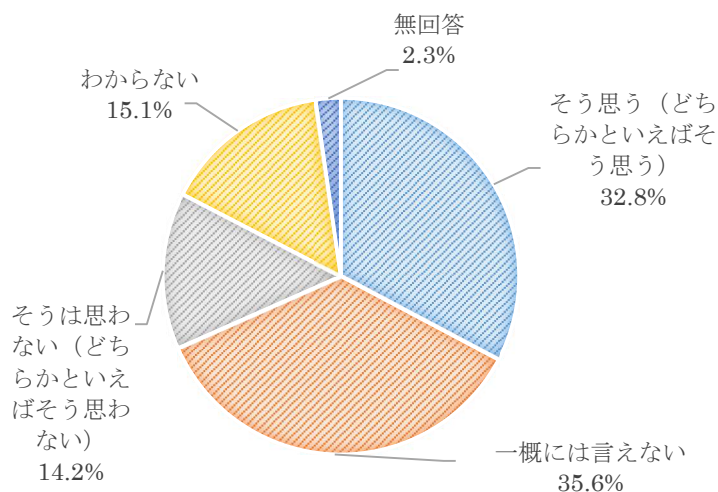
問3-1 人権が侵害されることは、この5～6年で次第に少なくなってきたと思いますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	少なくなった	59	16.8	15.8	13.3
2	あまり変わらない	124	35.3	43.0	45.5
3	多くなった	68	19.4	18.0	15.1
4	わからない	86	24.5	22.1	24.3
5	無回答	14	4.0	1.1	1.8
6	合計	351	100	100	100

※「あまり変わらない」が大幅に減少し、「少なくなった」「多くなった」が増加している傾向にある。

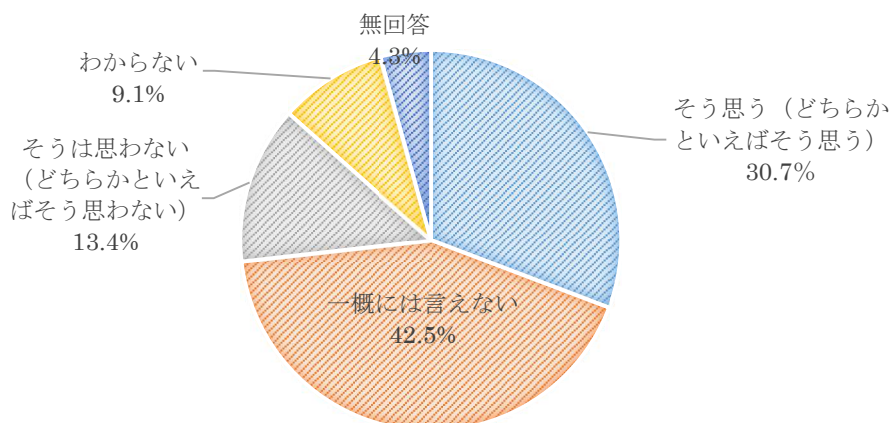
問３－２ 国民一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなったと思いますか。



No.	選択肢	回答数	構成比（%）		
			R 6	R 1	H26
1	そう思う（どちらかといえばそう思う）	115	32.8	27.6	23.7
2	一概には言えない	124	35.6	37.4	38.4
3	そうは思わない（どちらかといえばそう思わない）	68	14.2	16.2	17.6
4	わからない	86	15.1	16.2	18.3
5	無回答	14	2.3	2.6	2.0
6	合計	351	100	100	100

※「そう思う」が大幅に増加し、「一概に言えない」「そうは思わない」が減少していることから、人権意識は高まっている傾向にある。

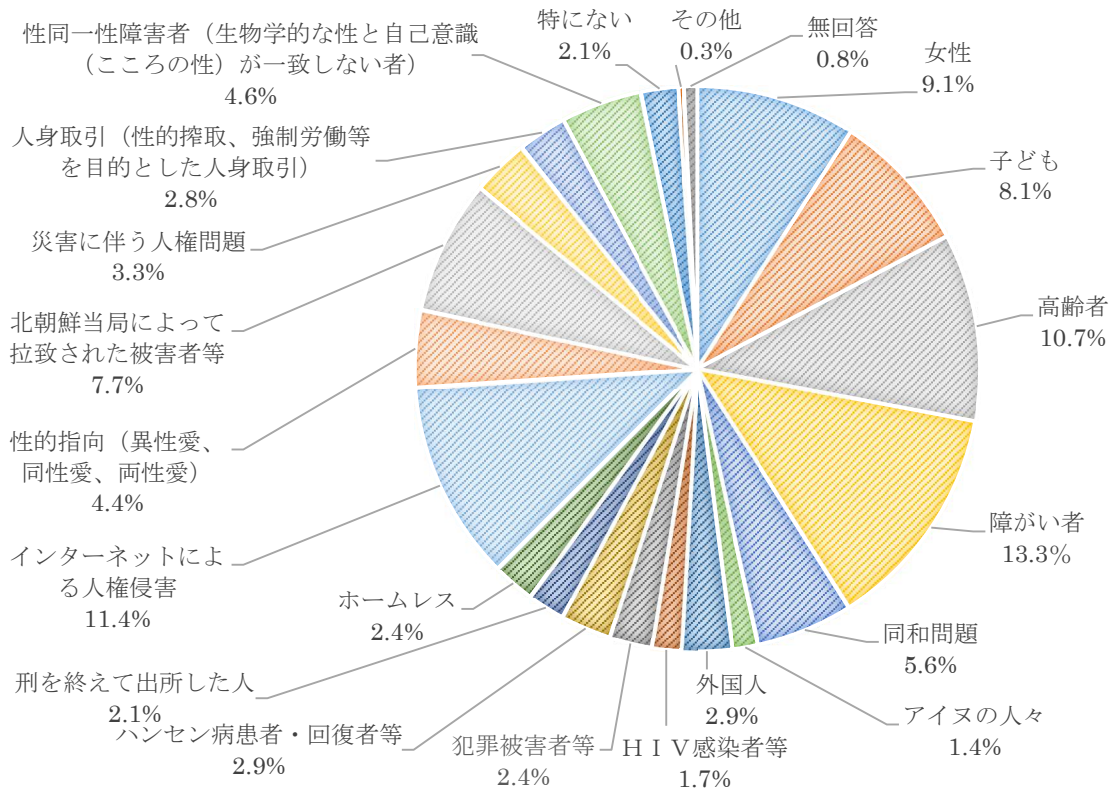
問３－３ 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。



No.	選択肢	回答数	構成比（%）		
			R 6	R 1	H26
1	そう思う（どちらかといえばそう思う）	108	30.7	19.7	20.4
2	一概には言えない	149	42.5	54.4	51.4
3	そうは思わない（どちらかといえばそう思わない）	47	13.4	16.7	14.5
4	わからない	32	9.1	7.7	11.2
5	無回答	15	4.3	1.5	2.5
6	合計	351	100	100	100

※「そう思う」が大幅に増加し、「一概に言えない」「そうは思わない」が減少している。

問4 あなたが、関心のある人権問題はどれですか。(複数回答)

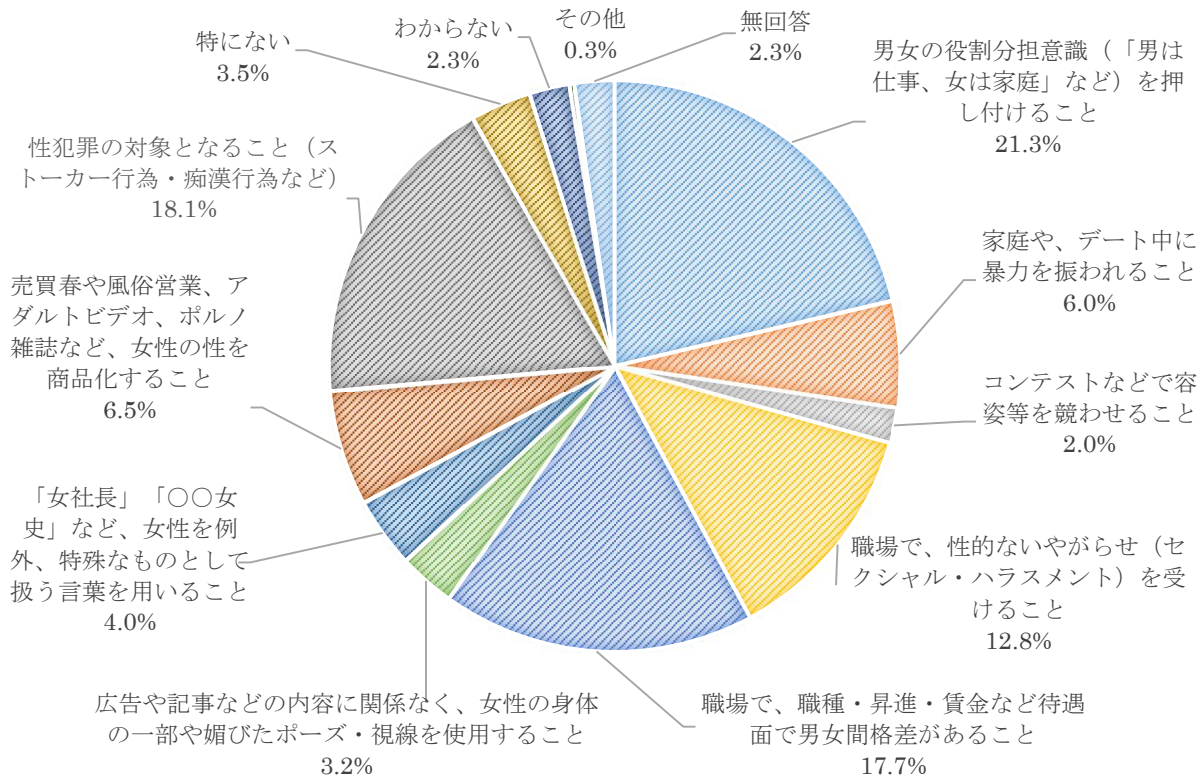


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	女性	120	9.1	10.0	9.9
2	子ども	106	8.1	9.9	10.0
3	高齢者	141	10.7	9.6	8.3
4	障害がい者	171	13.3	14.8	12.6
5	同和問題	73	5.6	6.3	7.0
6	アイヌの人々	19	1.4	0.8	0.9
7	外国人	38	2.9	3.4	2.5
8	H I V感染者等	22	1.7	1.6	2.1
9	犯罪被害者等	32	2.4	4.2	5.5
10	ハンセン病患者・回復者等	38	2.9	3.3	2.8
11	刑を終えて出所した人	28	2.1	2.9	3.6
12	ホームレス	32	2.4	1.4	2.7
13	インターネットによる人権侵害	150	11.4	11.0	11.7
14	性的指向 (異性愛、同性愛、両性愛)	58	4.4	調査なし	調査なし
15	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	101	7.7	7.9	8.1
16	災害に伴う人権問題	43	3.3	4.1	4.1
17	人身取引 (性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)	37	2.8	1.6	1.8
18	性同一性障害者 (生物学的な性と自己意識 (こころの性) が一致しない者)	61	4.6	4.6	3.7
19	特にない	28	2.1	1.7	1.7
20	その他	4	0.3	0.3	0.4
21	無回答	10	0.8	0.6	0.6
	合計	1312	100	100	100

※関心のある人権については、前回と比べても大きな変化はない。

○女性の人権について

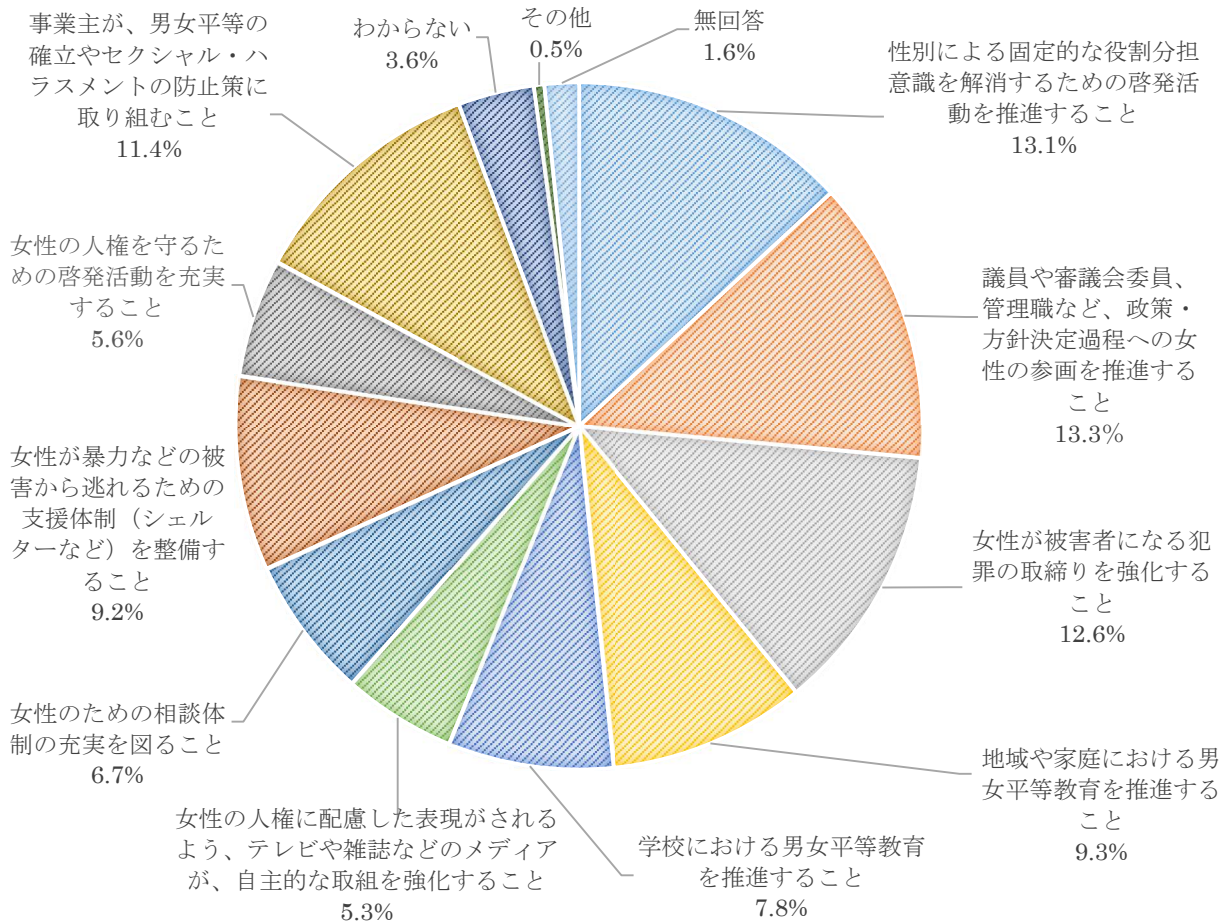
問5 あなたは、女性に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	男女の役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること	160	21.3	13.5	16.8
2	家庭や、デート中に暴力を振られること	45	6.0	5.0	8.6
3	コンテストなどで容姿等を競わせること	15	2.0	1.6	2.0
4	職場で、性的ないやがらせ（セクシャル・ハラスメント）を受けること	96	12.8	17.1	14.2
5	職場で、職種・昇進・賃金など待遇面で男女間格差があること	133	17.7	20.9	18.0
6	広告や記事などの内容に関係なく、女性の身体の一部や媚びたポーズ・視線を使用すること	24	3.2	2.5	3.0
7	「女社長」「〇〇女史」など、女性を例外、特殊なものとして扱う言葉を用いること	30	4.0	2.5	3.2
8	売買春や風俗営業、アダルトビデオ、ポルノ雑誌など、女性の性を商品化すること	49	6.5	7.6	7.5
9	性犯罪の対象となること（ストーカー行為・痴漢行為など）	136	18.1	17.1	20.7
10	特にない	26	3.5	3.0	2.1
11	わからない	17	2.3	6.3	2.0
12	その他	2	0.3	0.1	0.4
13	無回答	17	2.3	2.8	1.5
	合計	750	100	100	100

※「男女の役割分担意識」が増加し最も高くなっている一方、職場での「性的いやがらせ」や「職種・昇進・賃金などの格差」は減少している。

問6 あなたは、女性の人権を守るために必要なことは、何だと思いますか。(複数回答)



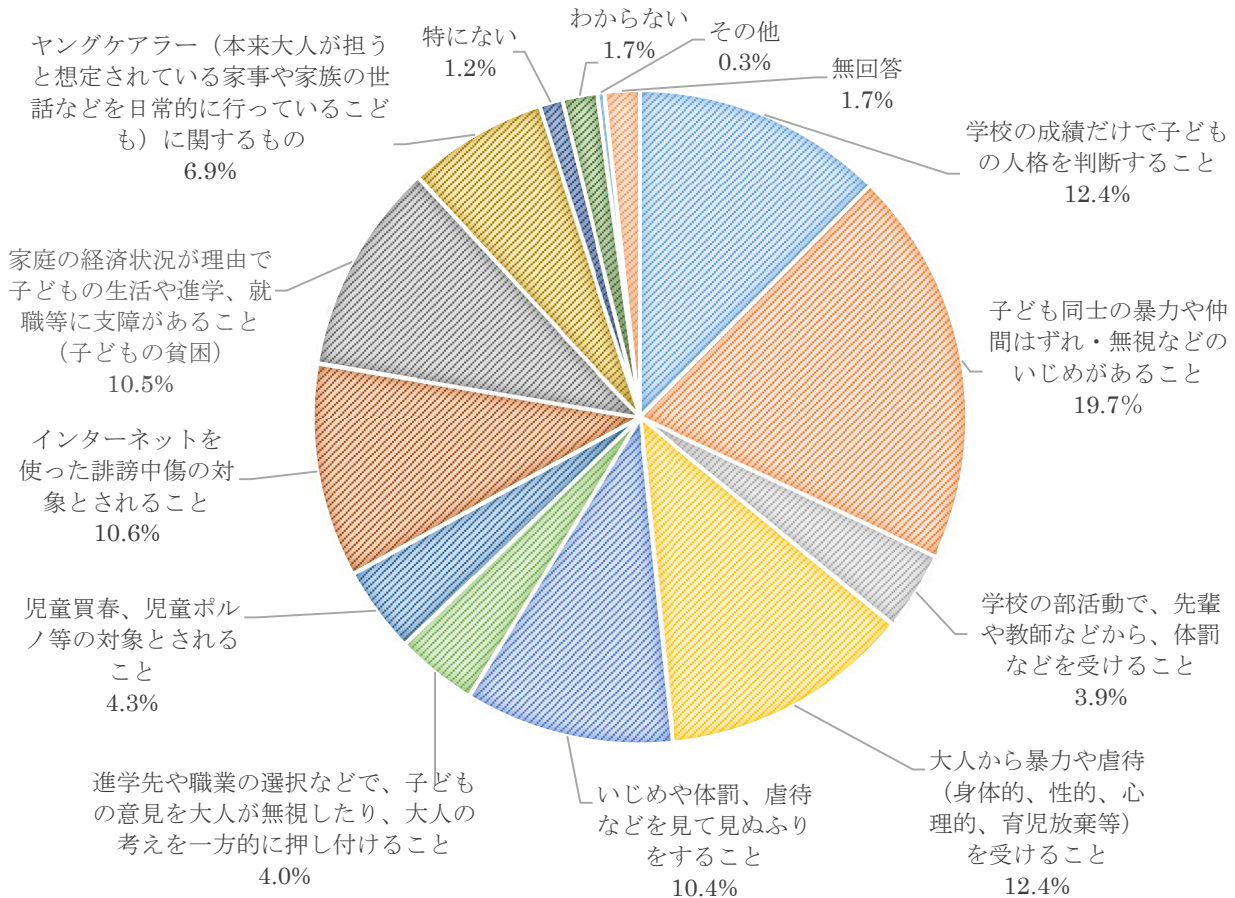
No.	選択肢	回答数	構成比
1	性別による固定的な役割分担意識を解消するための啓発活動を推進すること	106	13.1
2	議員や審議会委員、管理職など、政策・方針決定過程への女性の参画を推進すること	108	13.3
3	女性が被害者になる犯罪の取締りを強化すること	102	12.6
4	地域や家庭における男女平等教育を推進すること	75	9.3
5	学校における男女平等教育を推進すること	63	7.8
6	女性の人権に配慮した表現がされるよう、テレビや雑誌などのメディアが、自主的な取組を強化すること	43	5.3
7	女性のための相談体制の充実を図ること	54	6.7
8	女性が暴力などの被害から逃れるための支援体制（シェルターなど）を整備すること	74	9.2
9	女性の人権を守るための啓発活動を充実すること	45	5.6
10	事業主が、男女平等の確立やセクシャル・ハラスメントの防止策に取り組むこと	92	11.4
11	わからない	29	3.6
12	その他	4	0.5
13	無回答	13	1.6
	合計	808	100

※「固定的な役割分担意識の解消」と「議員や審議会委員、管理職など、政策・方針決定過程への女性参画の推進」が高くなっている。

※過去の調査データなし

○子どもの人権について

問7 あなたは、子どもに関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)

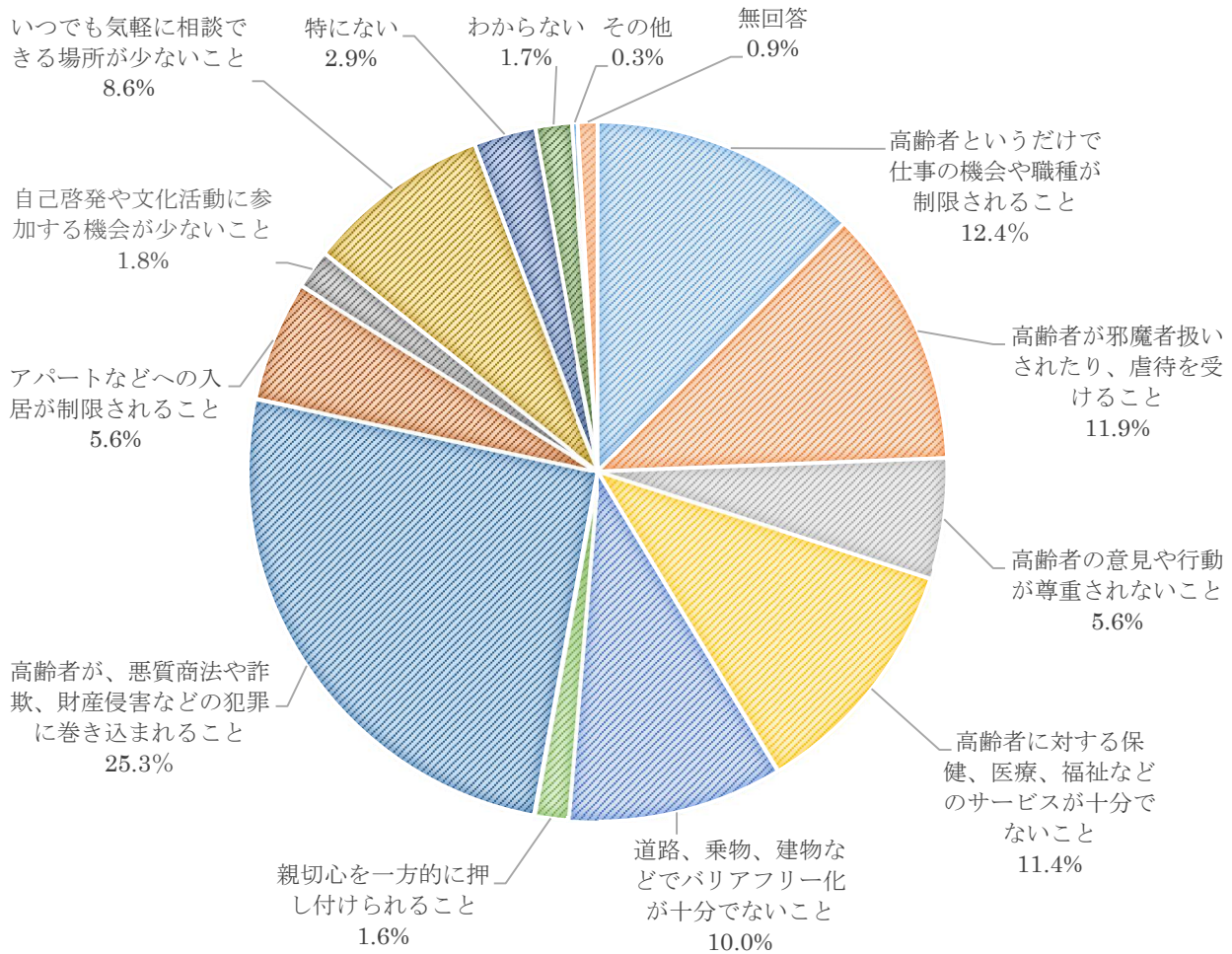


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	学校の成績だけで子どもの人格を判断すること	108	12.4	8.9	12.7
2	子ども同士の暴力や仲間はずれ・無視などのいじめがあること	170	19.7	27.6	26.1
3	学校の部活動で、先輩や教師などから、体罰などを受けること	34	3.9	5.3	7.2
4	大人から暴力や虐待(身体的、性的、心理的、育児放棄等)を受けること	108	12.4	17.8	20.5
5	いじめや体罰、虐待などを見て見ぬふりをする事	90	10.4	14.9	17.2
6	進学先や職業の選択などで、子どもの意見を大人が無視したり、大人の考えを一方的に押し付けること	35	4.0	5.8	6.1
7	児童買春、児童ポルノ等の対象とされること	37	4.3	4.7	5.9
8	インターネットを使った誹謗中傷の対象とされること	92	10.6	調査なし	調査なし
9	家庭の経済状況が理由で子どもの生活や進学、就職等に支障があること(子どもの貧困)	91	10.5	調査なし	調査なし
10	ヤングケアラー(本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども)に関するもの	60	6.9	調査なし	調査なし
11	特にない	10	1.2	3.6	1.2
12	わからない	15	1.7	7.7	1.5
13	その他	3	0.3	0.6	0.4
14	無回答	15	1.7	3.1	1.2
	合計	868	100	100	100

※「子ども同士の無視やいじめ」が大幅に減少し、今回から調査に加えた「インターネットによる誹謗中傷」や「子どもの貧困」がそれぞれ1割を占めている。

○高齢者の人権について

問8 あなたは、高齢者に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)

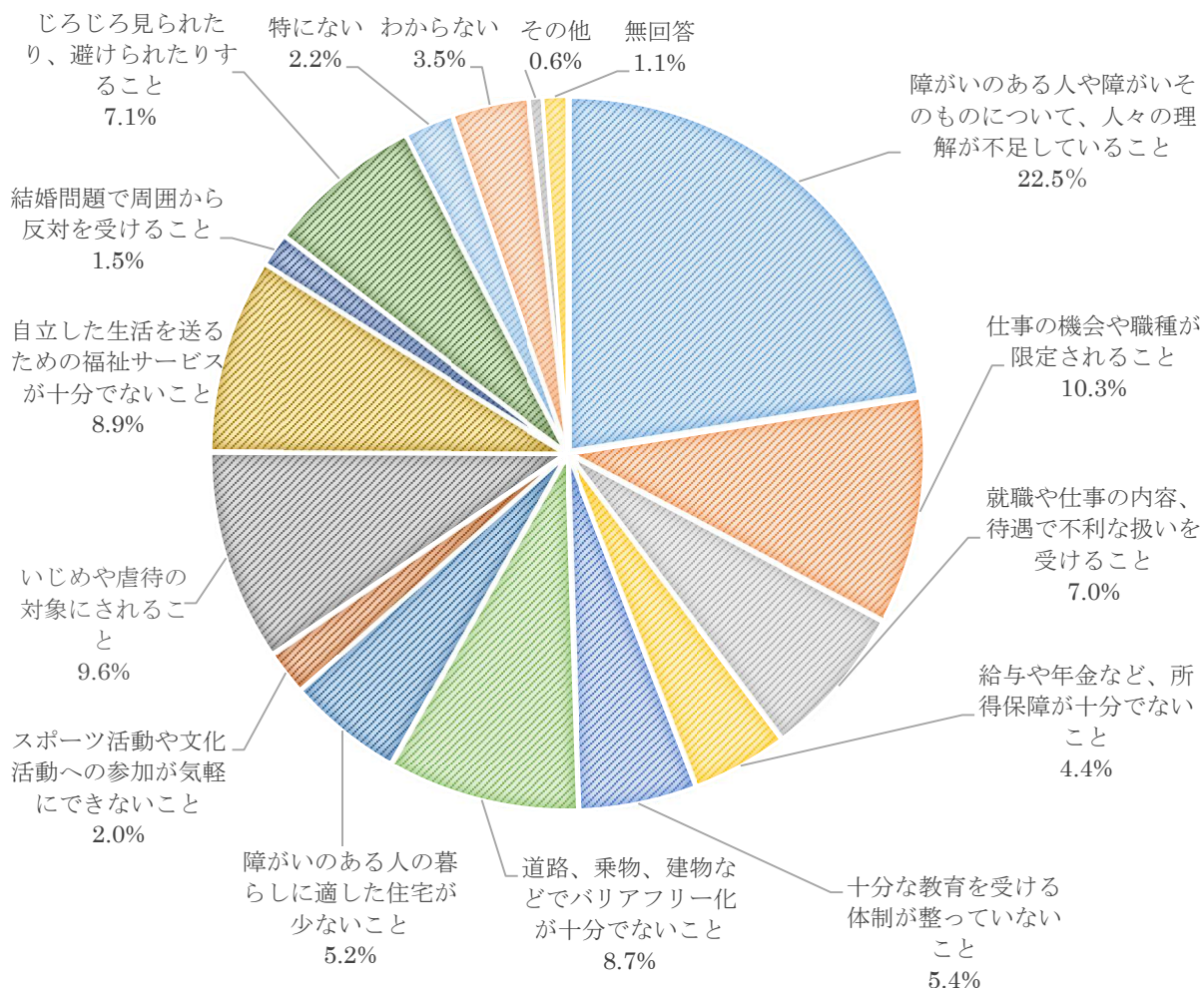


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	高齢者というだけで仕事の機会や職種が制限されること	96	12.4	14.2	16.4
2	高齢者が邪魔者扱いされたり、虐待を受けること	92	11.9	11.0	12.6
3	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	43	5.6	4.5	4.7
4	高齢者に対する保健、医療、福祉などのサービスが十分でないこと	88	11.4	10.9	12.0
5	道路、乗物、建物などでバリアフリー化が十分でないこと	77	10.0	12.3	9.8
6	親切心を一方的に押し付けられること	12	1.6	1.4	2.6
7	高齢者が、悪質商法や詐欺、財産侵害などの犯罪に巻き込まれること	196	25.3	24.7	26.4
8	アパートなどへの入居が制限されること	43	5.6	5.7	2.0
9	自己啓発や文化活動に参加する機会が少ないこと	14	1.8	1.5	1.4
10	いつでも気軽に相談できる場所が少ないこと	66	8.6	5.2	7.5
11	特にない	22	2.9	2.7	1.5
12	わからない	13	1.7	3.7	1.7
13	その他	2	0.3	0.2	0.1
14	無回答	7	0.9	2.0	1.3
	合計	771	100	100	100

※前回の調査から大きく変化はないが、「いつでも気軽に相談できる場所が少ない」が増加している。

○障がい者の人権について

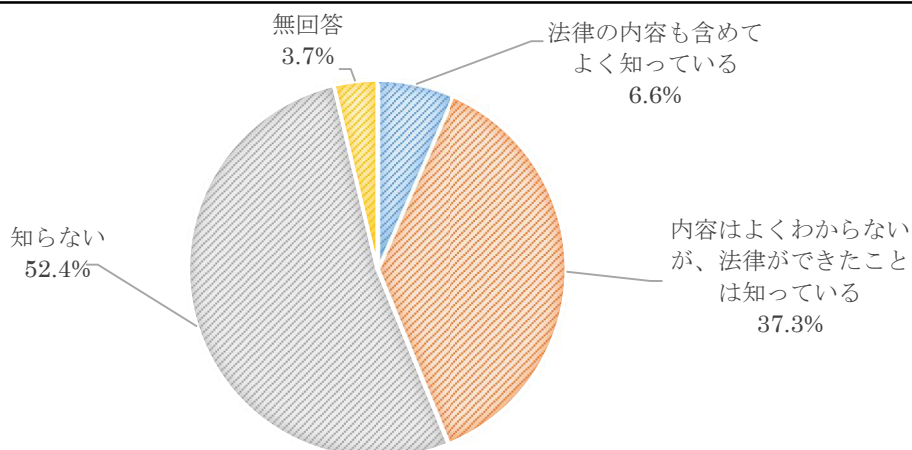
問9 あなたは、障がい者に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	障がいのある人や障がいそのものについて、人々の理解が不足していること	180	22.5	21.6	21.5
2	仕事の機会や職種が限定されること	83	10.3	14.2	15.5
3	就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること	56	7.0	8.3	8.0
4	給与や年金など、所得保障が十分でないこと	35	4.4	4.9	2.6
5	十分な教育を受ける体制が整っていないこと	43	5.4	2.9	4.0
6	道路、乗物、建物などでバリアフリー化が十分でないこと	70	8.7	12.1	10.7
7	障がいのある人の暮らしに適した住宅が少ないこと	42	5.2	6.4	5.1
8	スポーツ活動や文化活動への参加が気軽にできないこと	16	2.0	1.0	1.8
9	いじめや虐待の対象にされること	77	9.6	8.4	8.5
10	自立した生活を送るための福祉サービスが十分でないこと	71	8.9	5.7	7.2
11	結婚問題で周囲から反対を受けること	12	1.5	1.9	2.3
12	じろじろ見られたり、避けられたりすること	57	7.1	4.9	7.5
13	特にない	18	2.2	1.8	1.0
14	わからない	28	3.5	3.6	2.3
15	その他	5	0.6	0.3	0.4
16	無回答	9	1.1	2.0	1.6
	合計	802	100	100	100

※「障がいのある人や障がいそのものについての理解が不足している」や「十分な教育を受ける体制が整っていない」が増加し、「仕事の機会や就職の限定」「就職や仕事の内容、待遇」は減少している。

問 10 あなたは、平成 28 年 4 月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。

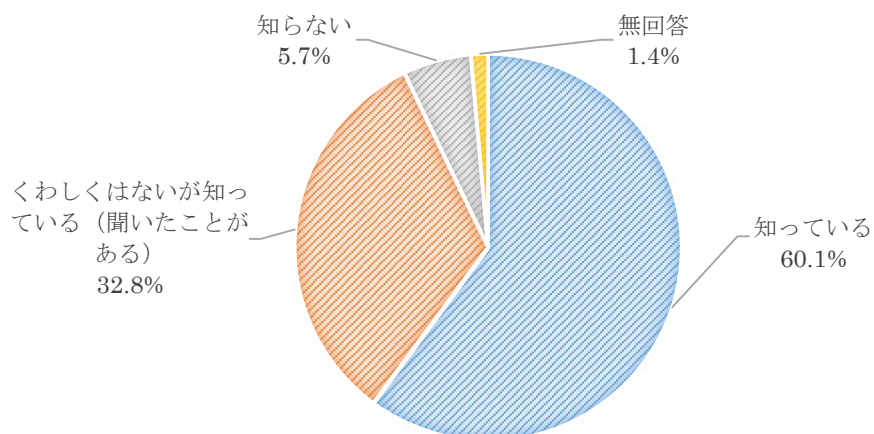


No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	法律の内容も含めてよく知っている	23	6.6	5.5	調査なし
2	内容がよくわからないが、法律ができたことは知っている	131	37.3	38.1	
3	知らない	184	52.4	53.3	
4	無回答	13	3.7	3.1	
	合計	351	100	100	

※「法律の内容も含めよく知っている」が 6.6%にとどまり、「内容がよくわからないが、法律ができたことは知っている」と「知らない」が大半を占めている。

○同和問題について

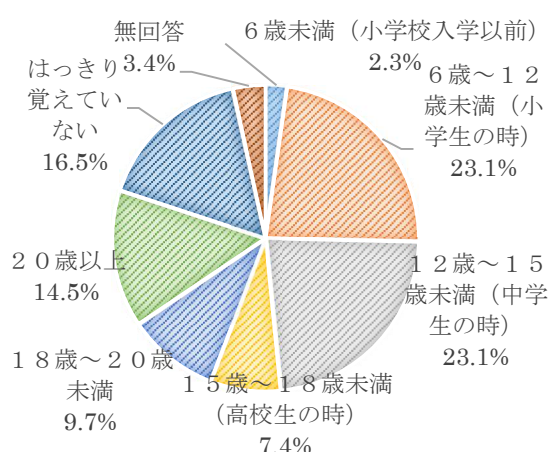
問 11 あなたは、日本の社会に「同和問題」や「部落問題」があることを知っていますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	知っている	211	60.1	66.9	58.2
2	くわしくはないが知っている（聞いたことがある）	115	32.8	28.8	33.7
3	知らない	20	5.7	3.9	5.7
4	無回答	5	1.4	0.4	2.4
	合計	351	100	100	100

※前回調査と比較すると、「知らない」が増加している。

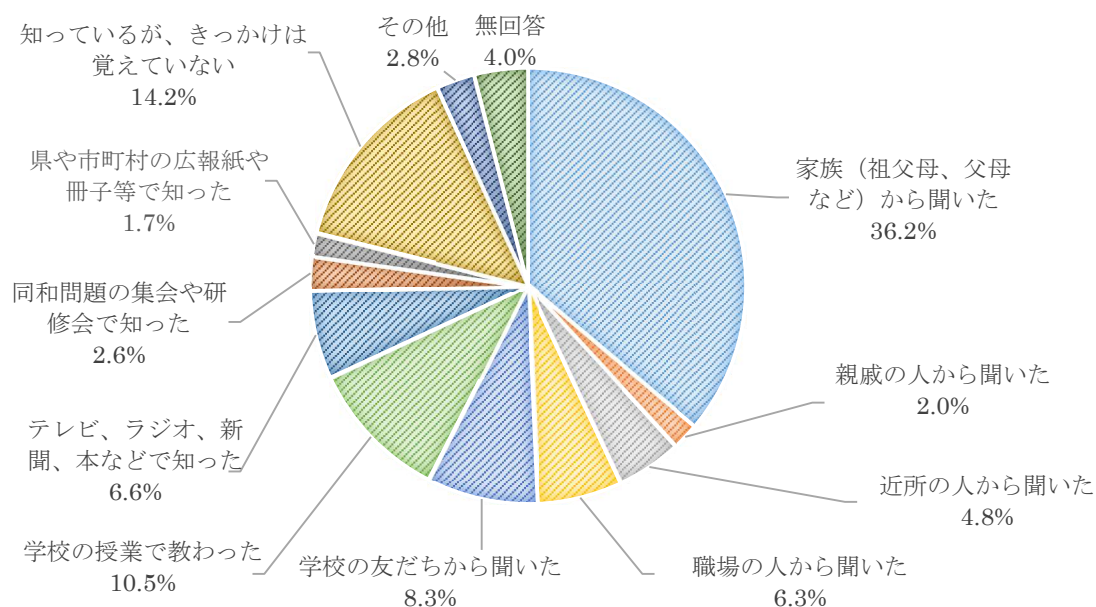
問 12 あなたが「同和問題」や「部落問題」について、初めて聞いたり、知ったのはいつ頃ですか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	6 歳未満	8	2.3	2.0	2.4
2	6 歳～12 歳未満	81	23.1	27.7	30.0
3	12 歳～15 歳未満	81	23.1	23.2	22.7
4	15 歳～18 歳未満	26	7.4	11.2	9.4
5	18 歳～20 歳未満	34	9.7	5.9	5.3
6	20 歳以上	51	14.5	16.0	12.5
7	はっきり覚えていない	58	16.5	9.2	12.0
8	無回答	12	3.4	4.8	5.7
	合計	351	100	100	100

※小学生・中学生時が最も多くなっている。

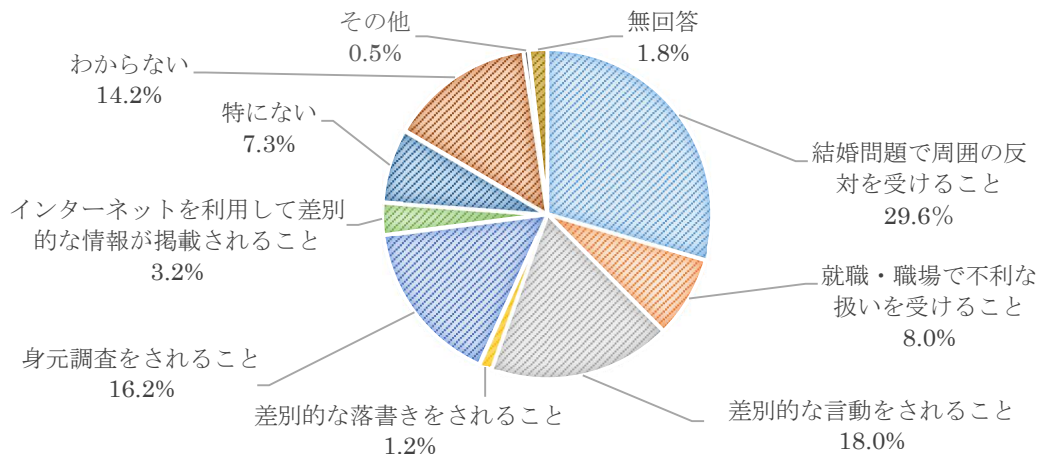
問 13 あなたが「同和問題」「部落問題」について、初めて聞いたり知ったきっかけは何ですか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	家族 (祖父母、父母など) から聞いた	127	36.2	31.3	34.3
2	親戚の人から聞いた	7	2.0	1.8	1.6
3	近所の人から聞いた	17	4.8	3.5	4.2
4	職場の人から聞いた	22	6.3	6.4	4.8
5	学校の友だちから聞いた	29	8.3	7.0	7.5
6	学校の授業で教わった	37	10.5	18.2	20.8
7	テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った	23	6.6	5.9	4.5
8	同和問題の集会や研修会で知った	9	2.6	3.3	1.8
9	県や市町村の広報紙や冊子等で知った	6	1.7	2.0	1.2
10	知っているが、きっかけは覚えていない	50	14.2	11.6	12.0
11	その他	10	2.8	1.8	2.0
12	無回答	14	4.0	7.2	5.3
	合計	351	100	100	100

※「学校の授業で教わった」が減少し、「家族から聞いた」が増加している。

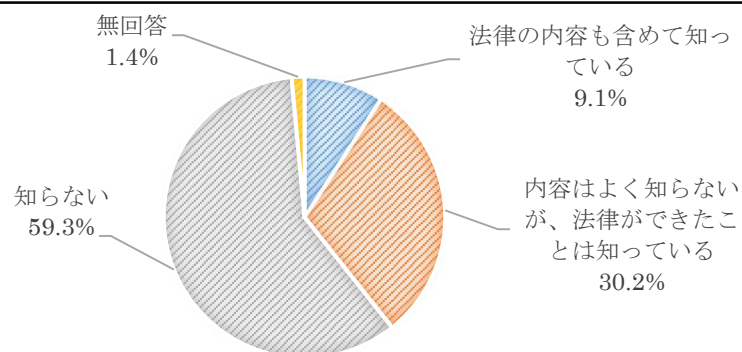
問 14 あなたは、「同和問題」に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。(複数回答)



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	結婚問題で周囲の反対を受けること	166	29.6	34.3	33.7
2	就職・職場で不利な扱いを受けること	45	8.0	9.2	9.6
3	差別的な言動をされること	101	18.0	19.0	19.9
4	差別的な落書きをされること	7	1.2	0.9	1.6
5	身元調査をされること	91	16.2	13.7	15.6
6	インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	18	3.2	3.4	2.8
7	特にない	41	7.3	4.7	4.2
8	わからない	80	14.2	9.0	9.5
9	その他	3	0.5	1.2	0.3
10	無回答	10	1.8	4.6	2.8
	合計	562	100		100

※「結婚問題で周囲の反対を受けること」は減少しているが、「身元調査をされること」は増加している。

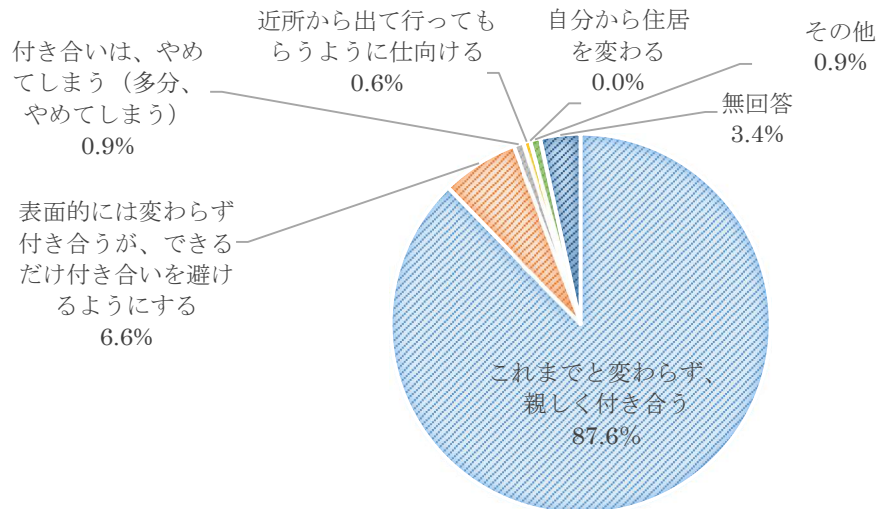
問 15 あなたは、平成 28 年 12 月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」を知っていますか。



	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	法律の内容も含めて知っている	32	9.1	5.3	調査なし
2	内容はよく知らないが、法律ができたことは知っている	106	30.2	37.3	
3	知らない	208	59.3	56.1	
4	無回答	5	1.4	1.3	
	合計	351	100	100	

※「知らない」が増加し、「知らない」と「内容はよく知らないが、法律ができたことは知っている」が、大半を占めている。

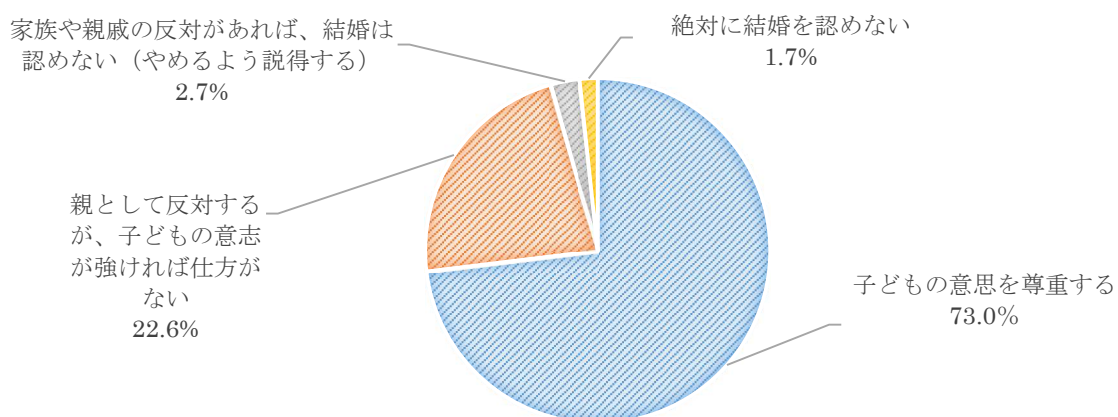
問 16 あなたのとても親しい人が「同和問題」を抱えている地区の出身あるいは、現在も住んでいると いうことがわかった場合、あなたはどのようにしますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	これまでと変わらず、親しく付き合う	308	87.6	89.5	82.7
2	表面的には変わらず付き合うが、できるだけ付き合いを避けるようにする	23	6.6	6.4	8.2
3	付き合いは、やめてしまう（多分、やめてしまう）	3	0.9	0.2	0.4
4	近所から出て行ってもらうように仕向ける	2	0.6	0.0	0.0
5	自分から住居を変える	0	0.0	0.4	0.2
6	その他	3	0.9	1.3	1.4
7	無回答	12	3.4	2.2	7.1
	合計	351	100	100	100

※前回調査と比較すると「これまでと変わらず、等しく付き合う」が減少し、「表面的には変わらず付き合うが、できるだけ付き合いを避けるようにする」や「付き合いはやめてしまう」がわずかに増加している。

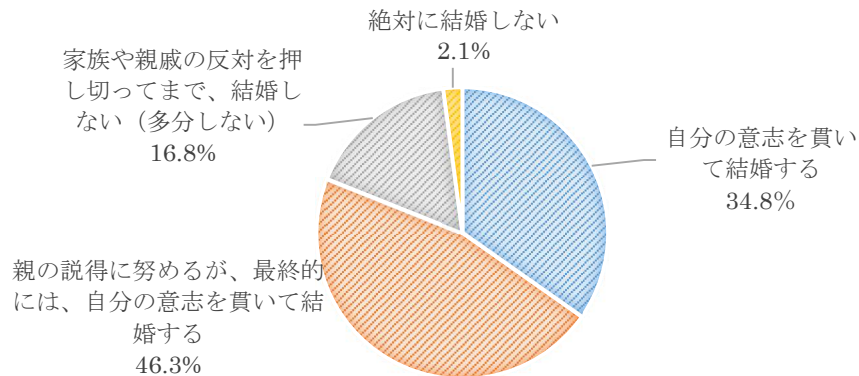
問 17-1 既婚の方へ あなたのお子さんが結婚しようとする相手が、「同和問題」を抱えている地区の出身あるいは、現在も住んでいるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	子どもの意思を尊重する	217	73.0	65.0	61.0
2	親として反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない	67	22.6	28.8	33.4
3	家族や親戚の反対があれば、結婚は認めない（やめるよう説得する）	8	2.7	5.1	4.1
4	絶対に結婚を認めない	5	1.7	1.1	1.5
	合計	297	100	100	100

※「こどもの意思を尊重する」が大幅に増加している。

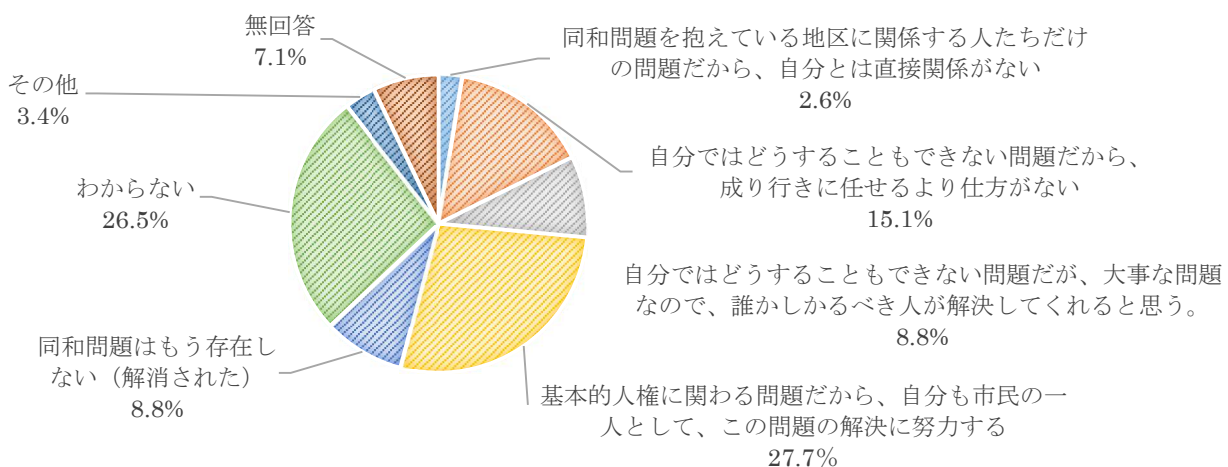
問 17-2 未婚の方へ あなたが仮に、「同和問題」を抱えている地区の出身あるいは、現在も住んでいる人と結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	自分の意志を貫いて結婚する	33	34.8	64.0	48.4
2	親の説得に努めるが、最終的には、自分の意志を貫いて結婚する	44	46.3	21.9	25.8
3	家族や親戚の反対を押し切ってまで、結婚しない（多分しない）	16	16.8	14.1	20.2
4	絶対に結婚しない	2	2.1	0	5.6
	合計	95	100	100	100

※「自分の意志を貫いて結婚する」が大幅に減少し、「親の説得に努めるが、最終的には、自分の意志を貫いて結婚する」が増加している。

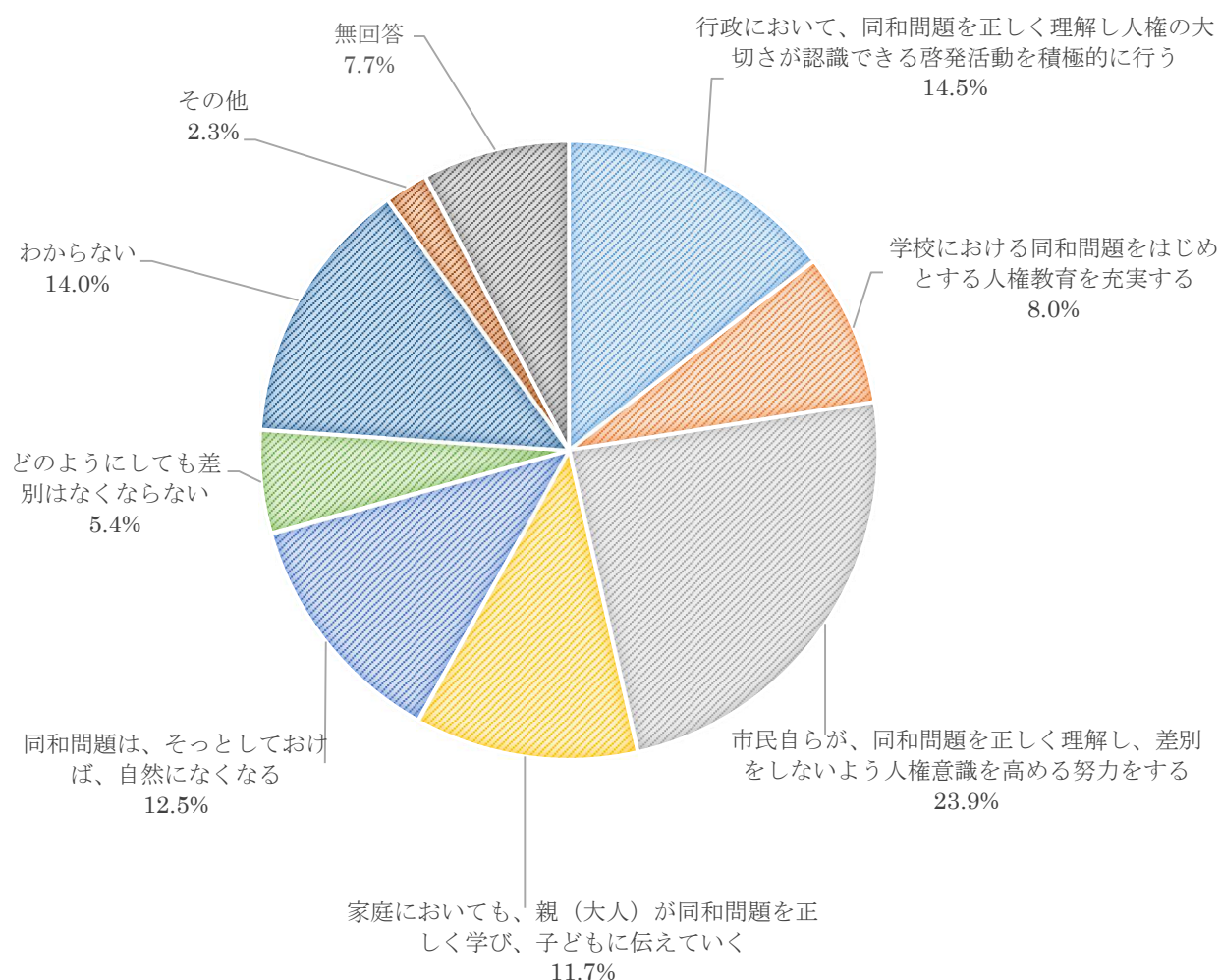
問 18 「同和問題」の解決について、あなたはどのように思いますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	同和問題を抱えている地区に関する人たちだけの問題だから、自分とは直接関係がない	9	2.6	1.3	2.0
2	自分ではどうすることもできない問題だから、成り行きに任せるより仕方がない	53	15.1	16.9	13.7
3	自分ではどうすることもできない問題だが、大事な問題なので、誰かしかるべき人が解決してくれると思う。	31	8.8	21.7	21.8
4	基本的人権に関わる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力する	97	27.7	25.1	23.1
5	同和問題はもう存在しない（解消された）	31	8.8	7.7	9.6
6	わからない	93	26.5	19.7	18.6
7	その他	12	3.4	3.9	6.5
8	無回答	25	7.1	3.7	4.7
	合計	351	100	100	100

※「自分ではどうすることもできない問題だが、大事な問題なので、誰かしかるべき人が解決してくれると思う」が、大幅に減少し、「わからない」が増加している。

問 19 あなたは、「同和問題」を解決するには、どのようなことが大切だと思いますか。



No.	選択肢	回答数	構成比 (%)		
			R 6	R 1	H26
1	行政において、同和問題を正しく理解し人権の大切さが認識できる啓発活動を積極的に行う	51	14.5	13.8	10.8
2	学校における同和問題をはじめとする人権教育を充実する	28	8.0	11.0	9.6
3	市民自らが、同和問題を正しく理解し、差別をしないよう人権意識を高める努力をする	84	23.9	25.5	25.5
4	家庭においても、親（大人）が同和問題を正しく学び、子どもに伝えていく	41	11.7	10.3	11.8
5	同和問題は、そっとしておけば、自然になくなる	44	12.5	14.3	14.7
6	どのようにしても差別はなくなる	19	5.4	5.0	6.3
7	わからない	49	14.0	11.6	12.0
8	その他	8	2.3	2.4	3.6
9	無回答	27	7.7	6.1	5.7
	合計	351	100	100	100

※「行政において、啓発活動を積極的に行う」が増加し、「学校における人権教育を充実する」が減少している。